

# 明日香の里 岡寺門前町

## 岡おか



西国三十三カ所名所図会(嘉永元年 1848年)

### まちづくりマップ

### 岡の歴史風土

寛延3年(1750年)の文書に「岡村は年貢率が高く、旅人の入込などでにぎわいをみせている。」と記されており、岡寺の門前にあたる町として栄えていた。

また、石舞台古墳遺跡から飛鳥寺への街道筋に位置し、その周辺に飛鳥京跡が広がっており、そこは、7世紀から8世紀にわたって日本(倭国)の首都であった。そこには、岡本宮、飛鳥板蓋宮、後飛鳥岡本宮そして飛鳥浄御原宮と宮柱が造営された。

岡寺のある東方の山から伏水が豊かに湧き、飛鳥川より引き込んだ水が都を潤し100年の都であった飛鳥平地が広がっている。

### 催事

- 1月1日 元旦祭(治田神社)
- 1月第2月曜日 大とんど(岡大字)
- 2月初午の日 初午開運厄除護摩供大般若法要(岡寺)
- 2月第3日曜日 初岡えびす祭(戎神社)
- 9月15日 豊穰祭(治田神社)
- 9月中旬 万葉のあかり(飛鳥光の回廊)
- 10月第2土・日曜日 秋祭り(治田神社)



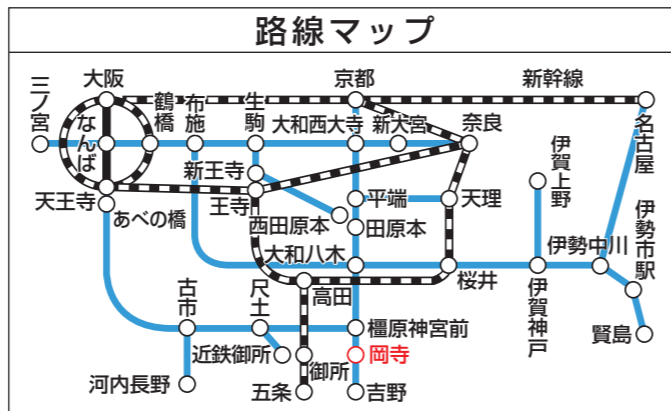
元旦祭



万葉のあかり



秋祭り



### 協働によるマップづくり

■奈良県では、地域資源を再発見するため、マップづくりを行っています。平成22年度は次の2地区で作成しました。

岡 (明日香村)

法華寺 (奈良市)

■このマップは、「岡大字にぎわいの街まちづくり実行委員会」と「なら・まちづくりコンシェルジュ(奈良県)」が協働で作成しました。

■平成23年(2011年)3月発行

■問い合わせ先:

明日香村地域振興室 (TEL 0744-54-2001)  
奈良県地域デザイン推進課 (TEL 0742-27-5433)

### にぎわいの岡の町

江戸から明治にかけての様子を書いた『大和いま昔』によると、壺阪寺から村内に入り、橘寺・岡寺・多武峰をめぐって北へ抜け、桜井の阿倍文殊院に経世の才を頼む。この後、長谷寺でこれら全ての願いの実現を祈ったものだという。岡寺を中心とする「飛鳥もうで」は、現世利益のために一生に一度は歩かずにいられないコースであった。当然ながら飛鳥の地は『岡』を中心にお参りの人で賑わった。この地を訪れた本居宣長も『菅笠日記』に岡の町を「なんのこともよくわからないが、随分騒々しいところだ」と書いている。

西国三十三カ所図会(表紙挿絵)では、その岡村の賑わいの様子が描かれている。ここに描かれる「御宿葉屋源太郎」は「みなとや」という旅館で、今も同じ場所に嶋田邸がある。



昭和10年頃の岡寺

### 周辺広域案内



裏面マップ範囲

### 昭和初期のにぎわいの町



### 【本町通り】

本町通りには、築170年の造り酒屋など古民家が軒を連ね、江戸時代の岡のにぎわいの様子を今に伝える。この通りは、市場筋とも呼び、かつては集落中央の往還を広くし、川溝を通し定期市も開かれ商家や旅籠屋等が軒を並べていた。



《現在の本町通り》

### 【岡寺参道】



《現在の岡寺参道》